

印刷技術による省エネ型電子デバイス製造プロセス技術の開発事業

平成30年度予算額 5.0億円 (5.0億円)

事業の内容

事業目的・概要

- 表示デバイスやセンサー等の情報電子デバイスは、IT技術の高度普及により今後も大きな需要拡大が見込まれることから、生産によるエネルギー消費も急速に増加すると予想されます。
- 特に、IoT時代の本格到来により、従来の表示デバイスに加えて、エネルギー・システムやヘルスケア、物流管理等の様々な分野に実装可能なフレキシブルな複合機能IoTセンサー等の新たな電子デバイスの開発が期待されていますが、そのためには高効率な生産プロセスを開発することが必要です。
- 本事業では、我が国が国際的に強みを有する印刷技術を電子デバイス製造プロセスに応用することにより、従来より省エネ、高効率、かつ低コストで省エネ型電子デバイス（表示デバイス、大面積センサー等）の製造を可能とする新技術の研究開発を行います。

成果目標

- 平成26年度から平成30年度までの5年間の事業であり、本事業を通じて、薄型・軽量・耐衝撃性などの特徴を有する省エネ型フレキシブル電子デバイスの実用化につなげ、平成42年度において約445万t/年のCO₂削減を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

省エネ・省資源・
高生産性製造プロセスを開発



インク
電子部材

印刷乾燥
制御



出口イメージ

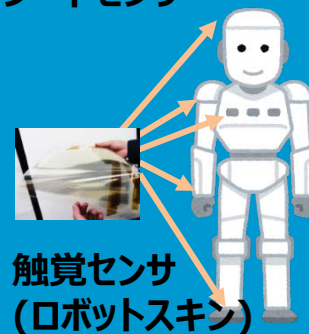


シートセンサ

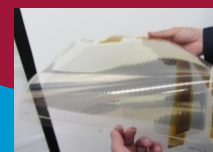
軽量、曲がる、シート状
大面積デバイスの実用化



IoT物流・
物品管理



触覚センサ
(ロボットスキン)



入力デバイス



ヘルスケアセンサ